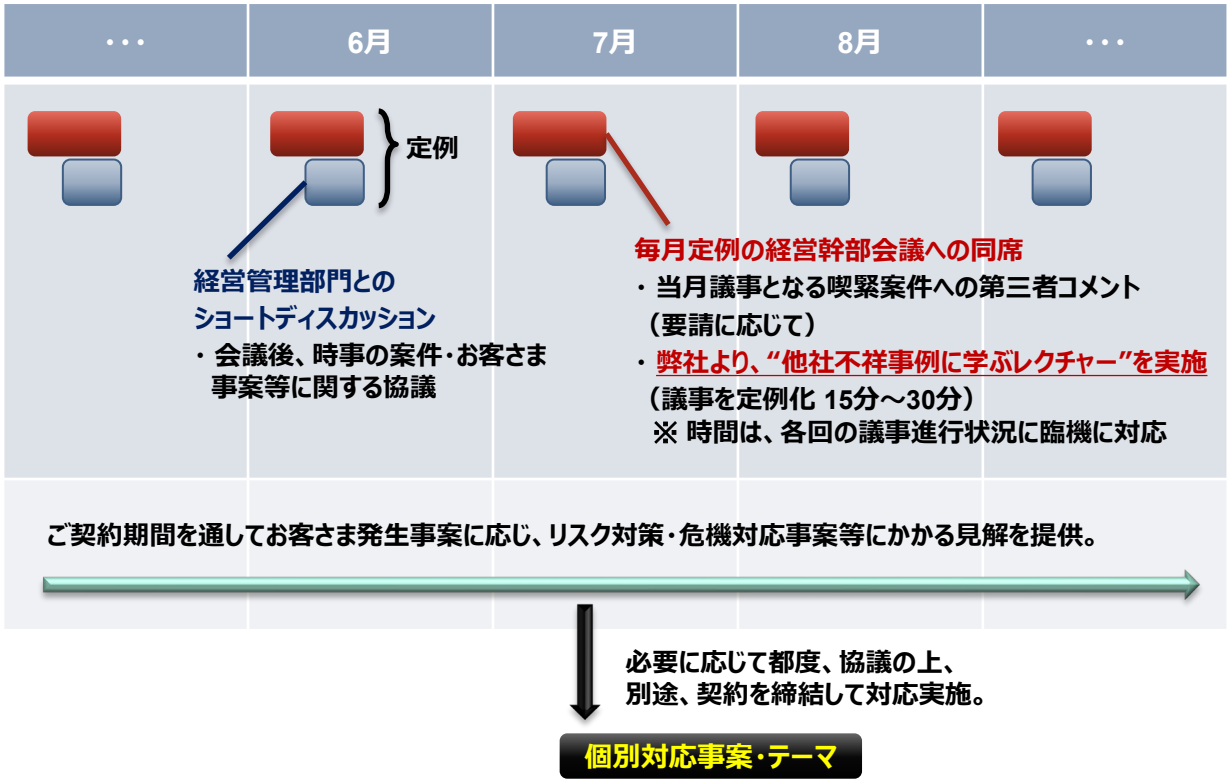
リスクマネジメント・危機管理　マネジメント力の強化アドバイザリー サービス

近年では、とりわけ製造業の品質問題にかかる不祥事が報道を賑わせました。この他、情報漏えいや不適切な労務管理、事故の発生、海外事業展開の失敗やこれに伴う大規模な減損処理など、不祥事・ネガティブな企業の報道は一向に後を絶ちません。企業が社会的な批判を受けるには相応の原因があり、ガバナンス強化の一言で他山の石とする以上に、実はこれらの事例から教訓として学ぶべき要素が多数存在します。

企業経営では、(1) トップラインの伸長、(2) コスト合理化、(3) リスクヘッジを実現するガバナンス強化を常に考えていく必要があります。特にガバナンスの強化、マネジメント力の向上は一朝一夕に実現されるものではなく、また仕組み以上に役員や上級幹部の方々のマネジメント・センスに依る所も大きいものと考えます。

三菱総合研究所では、役員・上級幹部の皆様を対象に、長期のリレーションシップの中での事例紹介を通して、経営層（または次代の経営を担う方々）のリスクセンスを向上させ、組織運営の基盤となるマネジメント力の強化を目的とする伴走型のアドバイザリー・サービスを提供しております。

サービス提供（ご契約）事例



“他社不祥事例に学ぶレクチャー”の概要

- 現在進行中の事案ではなく、一定度の収束が見られた企業不祥事例を対象。最近の事案に限らず、過去の示唆に富む事案の振り返りも含む。
- 事案の経緯を体系的かつコンパクトに説明。多忙な幹部のために、事案全体像を簡潔に整理。
- 社会的な批判を受けた原因を振り返り、明確化。これらをお客さま企業・事業に置き換え、教訓とすべきポイントを整理。
- 質疑の時間を確保し、持ち越しとせず、その場で共有・共感でき、参加者の知見としていただく機会を標榜。

Copyright (C) Mitsubishi Research Institute, Inc.

どのようなお客さまに？

本サービス・メニューは、以下のような機会をお客さまにご提供いたします。

- **◆ マネジメントに潜む日々移り変わる多様な課題に対して、社内の価値観に囚われない第三者の目で公正な見解と対応の具体的助言を得る。**
- **◆ 社内判断への適切な牽制機会を確保し、複数意見を求める経営者へ適時の進言を実現。**
- **◆ 社会的にインパクトの大きな事例について、報道等にもとづく離散的な印象にとどめることなく、全体像と本質を短時間で自らの知見として役立てる。**
- **◆ 特定の課題が発生した時に、自社事業に理解ある信頼の置ける相談先の選択肢を、平時より確保いただく。**

サービスご提供の形態

- ◆ 半期または通年の期間ご契約となります。
  定例プログラムの開催頻度は、毎月、隔月等、柔軟に対応いたします。
- ◆ 事例のレクチャーは、お客さま組織内の定例会議（各種会議体、委員会活動等）の議事として企画し、毎回実施、または、専用のレクチャー時間の確保（セミナー形式）等にカスタマイズいたします。
  （多忙な幹部の方々に対する時間確保の労を、最小限とする方針です。）
- ◆ 対象とする教訓事例についてはご担当と協議の上、決定いたします。

《最近の当社レクチャー事例》

- ✓ インフラ企業の大規模事故
- ✓ 大学アメフト問題
- ✓ 食品メーカーによる集団食中毒事件
- ✓ 笹子トンネルの崩落事故
- ✓ 半導体メーカーの技術情報漏えい問題
- ✓ 総合電機メーカーの大規模減損・不正会計問題の総括
- ✓ 食品業の禁止添加物入り食品販売事件
- ✓ 自動車メーカーの不正検査・鉄鋼メーカーのデータ改ざん問題
- ✓ 社員のSNSへの書き込み問題
- ✓ 欧州自動車メーカーの排ガス不正

ほか

本資料に関するお問い合わせ先

株式会社　三菱総合研究所

Email：service@ml.mri.co.jp

Copyright (C) Mitsubishi Research Institute, Inc.